東京第41隊機関誌
第三〇号
月刊
No30

御挨拶

新年おめでとう。新しき躍進の年をむかえて我が四隊もいよいよ八年目の歩みを踏み出しました。我々スカウトも六十名の多くを数えるに到り、まさに我が四隊の組織の拡大の必要を感じております。

今年こそはカブ、シニアと共に三つの組織がガッチリと手をつなぎ前進する年であります。

又我々は真の日本のチャーチスカウトの先駆者として努力せねばなりません

チャーチスカウトこそ真のBP精神を発揮するものである事を確信します。

如何なる困難につきあたってもスカウトらしく「ス。マイル」を持って前進しましょう

今田隊長

石田編集長

此の度伝統ある四隊のスマイル編集長に就任する事になりまして心から喜んでおります。

返り見ますと昭和23年第一代稲瀬編集長以後5年の長さを数えておりますこのスマイルも、前青木編集長との引継がうまく行かず、わずかの空白もありましたが、ともかくも最近では新俊なるスカウトが来て後等の手によってどんどん改良されそれにつれ発展しております。編集員の顔ぶれは次の人達であります。

顧問・飯田貞雄副長
〃 青木義明隊付
編集長 石田利司(ダック班々長)
編集員 道下恒夫(ダック班次長)
〃 西山雄二(黒豹班次長)
〃 山崎太郎(野牛班)
〃 大塚豊志(鷲班)

どうぞこの新しく生れ変ったスマイルを皆さんで応援して下さい

春の大会!!

今年の春の大会は、2月21日、一時から神田の共立講堂において行われる、各隊とも一生懸命やっていると思う、我が隊は56隊と合同の劇(キャンプの想い出)をやる、すでに1月16日頃から56隊が4隊にやって来て練習している、4隊に56隊、456と続き「えんぎ」がいいし、きっと成功すると思う、皆んな頑張って練習して下さい。尚22日はベーデンパウエルさんの誕生日である。

(道下)

年中行事

2月20日 隊、バースデー
2月21日 春の大会
3月26〜27日 ナイトハイク
3月29日〜4月3日 赤救急法、講習(ボリンバーのみ)
7月26日〜31日(これの内5日間) 隊キャンプ

高橋君一級になる

1月17日2時に看護婦さんの面接があり、高橋君は正式に一級になった。それの前までは28年4月18日から二級に約9ヶ月いたことになる

(山崎)

補佐

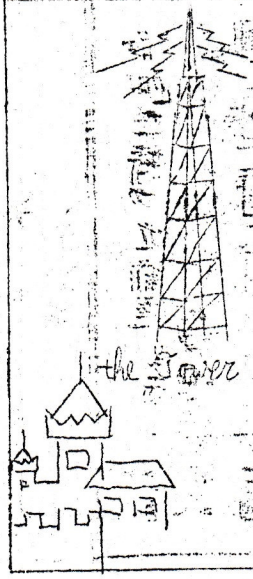
補佐が足りないので其の下をうける事になった。物品、高橋、西山、食料、川崎、山崎、ハイク、小北、植村、図書、道下、田塚

新しく出来た室内装飾

カブ正式登録か

4隊は今までボーイスカウトだけしか正式登録をしていなかったが、今年の4月から正式登録と成る。隊長は日野、式登録は太田

デンマザーは安藤、木銅、上に内定しデンチーフは決



[illegible]

去る[illegible]日[illegible]であるウ[illegible]ズマスカートしました。手紙の旨は、[illegible]皆さん元気でクリスマス[illegible]えた事と思います、[illegible]カウトが、アメリカ[illegible]は、必ず家にお[illegible]て下さい。[illegible]私はボンボリ[illegible]んでしたが、アラ[illegible]マの35隊[illegible]長がイーグルスカウトと隊委員[illegible]日本のスカウトにメッセージを[illegible]送りました。「いつも進歩を[illegible]ハスカ[illegible]言葉を忘れず、良い[illegible]ってください」

地上七十三米！

2月2日、ちょうど高三は試験がなくて、先生も監督で授業がなかったので、友達二人とNTVへと行った。始ってすぐ行ったので、問うへ着いたのは、9時20分頃であったが、すでに、歴史学、H高校の学生が来ていて、僕は1人目になっていた。玄関で整理券をもらって、二階へ上がる。調整室、見物室へ、ポンサーの方は速度なく前へお座りなさいと書いてあった。を通って裏出る。建物は三階建で、鉄塔が立っておりとても大きくなる。前は貧弱に見える。裏に出るとそこは建物の陰にしゃがみ込んで取図がある。相当に長方形の見えない横が短い為に距離が近く感じられる。横浜の脇に富士が遠くに見える。

したり、絵葉書、手拭等を並べている。御自慢の煙草店も掃除中。前にある、ちょっと生を植えてあり、脇道へ沿れることは出来ない。池の中も浅い水たけだ。

べ19は一回で人づつだから2回目だ。真下から見ると、失辺の棒がこっち側に傾いているように見える。下から見ると、高さは、そう感じない。10分もかからぬうちに降りてきて中に入る。速度は遅いモヤの下へ行く。二階に着く。55米である。3階伝は鉄板が並べられている。あまり雑然としていないので説明長い。山は見えない。四谷から新宿の方は、ごまかい家ばかりで、新宿近辺に建物がかたまってポツポツと置いてあるだけだ。エレベーターが来て、一段上へ行く。

青いコンモリした森の向うは、銀座、新橋、日本橋、よれの内あ皮の向はいろ、ビルとビルとの間もはだん何もなくとみやとビルとが晴れてきた。ふと富士山が見えたようだ。ひさしぶりで、高度の路屋御の通り再沢を前に。高度感から見る。ずいぶんと高いモヤの中に浮ぶ感がある。真中。丹沢も麻布と直って、見取図の浅間の赤べもの日光白根。筑波麻布からはきれいで見えない。見えないからだけ。

友もいかなくて昔通中高の目では下見えない。

谷が、ずっと市外の方は、モヤと逆光で薄暗くなって、高ビルの街と較べ、東京タワーの建物は、広い屋根の上に、かたまってポツポツと立っている。こっちの方は、はっきり分らない。一台おいて寒いので降りる事にする

地上七十三米！

2月12日、ちょうど高三は試験がなく、先生も監督で授業がなかったので、友達二人とNTVへと行った。始ってすぐ行ったので、向うへ着いたのは、9時20分頃であったが、すでに、歴史学、付高校の学生が来ていた。玄関で整理券を貰って、二階へ上がる。調べ室、見物室（スポンサーの方は違う）、前へお座り下さい、と書いてあった。建物は、二階建で、鉄塔が立っている。前に池のある、ちょっとした庭園もある。芝生を植えてあり、脇道へ沿れることは出来ない。池の中も浅い水たまりだ。エレベーターは一回7人づつだから2回目だ。真下から見ると、矢辺の棒がこっち側に傾いているように見える。高さは、そう感じない。下から見ると、10分もかからぬうちに降りてきて中に入る。速度は遅い。モヤの下へと行く。二階に着く。55米である。3メートル伝は鉄板が並べられている。あまり雑然としているので説明しにくい。山は見えない。四谷から新宿の方は、こまかい家ばかりで、新宿近辺に建物がいくつかたまっている。それから少し左に渋谷らしい。こうして見ると、東京もコンクリートのかたまった建物は、広い屋根の上に、ポツポツと置いてあるだけだ。エレベーターが来て、一般上へ行く。音響コンセントは、コンクリートの新橋の下を通り、銀座、日本橋、ビルビルの間を抜けて、ビルの中に浮ぶ様に見える。真中は、何だか、ふとんを前に敷いたような、ふとんの中に、富士山が見えてきた。晴れてきた。ふと、ふと、ふと、

。降りは赤ブくめの運転手に聞くと、大きく四方についている窓は大分問題になっているらしい。毎分30米、山の急な降りを駆け降りる時に感ずる、耳がガーッとする感じはない。風速10米以上運転禁止だ。人向も案外大きくみえた。あんなんぢゃ銃撃射戦争中を思い出したをやるなんて、すぐ分簡単だ。隠れたって、りそうだ。さて、そのうちに、地上にとたどりつき、四、五十人の待っている人に見られながら外へ出た。地上は暖かい。風もないし。歩きなが ら、どうも物足りないと思って考えて見た。やはり、自分で登らなかったから。山に登って、遠くの町を眺めた感じではない、感激がない。富士山へケーブルカーをつけて も同じことだろう。たゞ、綺麗だなとか、あそこは△だなどといって眺めめ、又サッと降りてくるだけだ。写真にしたって傑作は写れないだろう。そこには感動がない。

（青木）

投書

これは主なものを選びました。

一、駄洒はやめましょう

二、室内を綺麗にしましょう

三、掲示板を見よう

四、人の物はだまって使うのはよしましょう。

会計報告

収入の部

前月より		574.—
隊費 8月	1	20.—
10月	1	20.—
11月	7	140.—
12月	16	320.—
1月	4	120.—
日連より交通費(NTV)		200.—
寄附 (飯田)		135.—
(志水)		168.—
(今田)		10.—
(荒垣)		10.—
(旋原)		100.—
(田中)		100.—
(青木)		101.—
		2018.—

支出の部

ヤシショウ(初級6ケ)	210.—
交通費(NTVアヘ タクシーニテ)	240.—
ワラ半紙 300枚	150.—
印刷用インキ	100.—
クリスマスケーキ代	425.—
絵具及び筆	58.—
1月へ繰越	835.—
	2018.—

註 1月ヨリ隊費ハ30円ニ値上リ
但し育成会費ハ40円

NTV放報告

12月15日にNTV出演の為に教会に集合した。試験期の為に今田隊長、志水、飯田、荒垣各副長、青木、杉原各隊付他計十名が参加し山中の森と山嶋デンマーク体操を演じた。帰りには出演記念のシャープを参加者全部いただいて徒歩で教会に向った（杉原）

編集後記

編集委員も再選され皆んなはりきっています。皆さんも協力して下さい。それから記事はドシ〳〵出して下さい。

（M）

スマイル 第二十号（非売品）
昭和廿九年一月廿三日印刷発行
発行人 今田富士雄
編集人 石田耕司
発行所 港区赤坂霊南坂教会内 ボーイスカウト東京第四隊

注心 日関 機